

## 令和7年度第1回広島県公立大学法人評価委員会

- 1 開催日時：令和7年7月14日（月）14：30～16：50
- 2 開催場所：叡啓大学 602・603 教室
- 3 出席者：【評価委員会】曾余田委員長、浅田委員、中矢委員、牛来委員、林委員  
【広島県公立大学法人】鈴木理事長、森永学長、有信学長、津森副学長、上水流副学長、  
石川副学長、山本事務局長 外
- 4 議題：令和6年度業務実績及び第三期中期目標期間における業務の実績及び評価について
- 5 担当部署：環境県民局高等教育担当  
TEL (082) 513-2752 (ダイヤルイン)

### 【質疑】（評価委員：○、広島県公立大学法人：●）

〈県立広島大学について〉

- ：県立広島大学における、学修時間の実質的な増加に対する取組について教えてほしい。
- ：授業改善アンケートを通じた授業外学修時間数の確認、授業ピアレビューを通じた授業運営の向上を図る取組などを行っている。
- ：県立広島大学大学院における定員充足率について、どのように改善していくのか教えてほしい。
- ：自大学生・他大学・高等専門学校への広報の充実や、協定校との共同プログラムの導入などを着実に実行していくことで、定員充足率を回復できると考えている。

〈叡啓大学について〉

- ：叡啓大学における卒業生について、就職実績を教えてほしい。
- ：国内企業やグローバル企業への多様な就職実績があり、起業した卒業生もいる。学生たちが自ら進路を選択し、満足度も高い結果となったと考えている。
- ：叡啓大学における、多様なバックグラウンドを有する教員の確保による効果を教えてほしい。
- ：専門分野の異なる教員が複数人で連携して、学生の生活や学修についてサポートする体制を構築しており、きめ細やかな学生支援に役立っている。また、卒業プロジェクトでは、学生1名に対して2名の教員が担当しており、学生は異なる視点に基づくアドバイスを得られ、問題を多角的俯瞰的に捉える力や、多様な価値観を理解して協働する力の育成に役立つなど、多様な教員の確保は有意義であると考えている。
- ：叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会の構築による効果について教えてほしい。
- ：4年間で様々な課題の提供を受け、多様なインターンシップの実施につながっている。また、卒業プロジェクトでは、参画企業・団体から、外部評価委員を複数名招へいし、支援を受けている。

〈法人全体について〉

- ：自己評価について、数値目標に対する考え方を教えてほしい。
- ：数値目標の達成度合いによって判断している項目や、数値のみでの判断ができない項目については、取組全体で総合的に判断し、評価をしている。
- ：コンプライアンスの確保について、自己評価に対する考え方を教えて欲しい。
- ：過去の監査での指摘事項を踏まえ、内部監査の体制を整備し、規程を遵守することの浸透を図ってきたところ、今回は指摘事項なしという結果となり、取組全体の成果と考えている。